

発行 (社)日本経営士会 千葉支部 <http://keieishi-chiba.org/>  
 支部長 西村 豊 〒275-0022 習志野市香澄5丁目 1-17  
 編集 事務局 副支部長 鈴木伸一

平成23年3月26日発行

第87号

東日本大震災の被災者の方には謹んでお見舞い申し上げます。この度の震災はマグニチュード 9.0 と過去の地震に比べ世界最大規模の力と巨大な津波が町を飲み込むというショッキングな映像、原発の安全神話の崩壊など、日本が永々と積み上げてきたものをことごとく、破壊つくしております。

関東地方でも計画停電、交通マヒ、物不足など多大な影響を被っております。被災地の方々の早期復興を願って、私たちも不便な生活でもぜひ協力を進めていきたいと思っております。

## 千葉支部 第 56 回定時報告会開催のお知らせ

千葉支部定時報告会を下記の要領で執り行います。会員諸氏にはぜひご出席願います。

日 時 平成23年5月14日(土)

総 会：13:00~14:00

特別講演会：14:15~15:45

講 師 能楽師 シテ方観世流 九世 橋岡久太郎 氏

テーマ 「ちばが世界に誇る伝統的文化の継承」

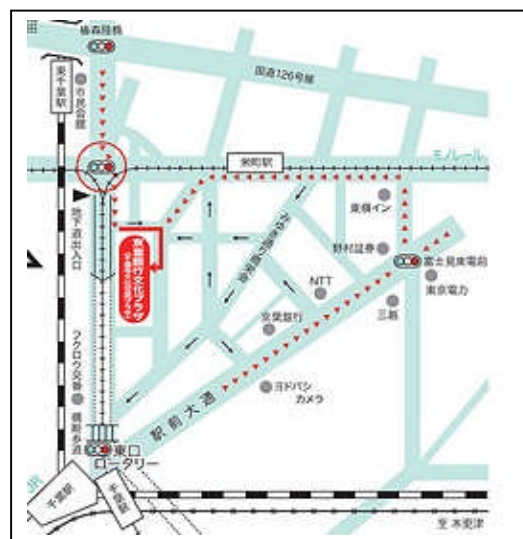
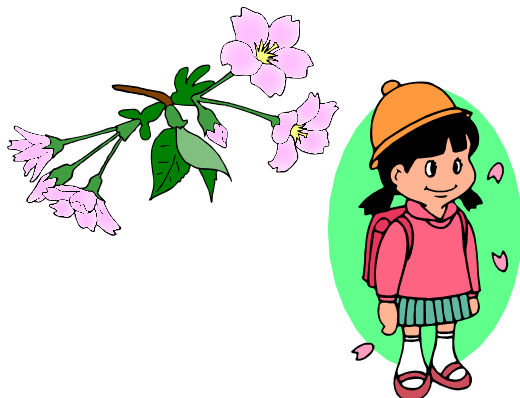
懇親会：16:00~18:00 (参加費 5,000 円)

場 所 京葉銀行文化プラザ (旧ばるるプラザ千葉)

電話：043-202-0800

■ JR 千葉駅東口より徒歩3分

※詳細は後日メール、郵送にて連絡いたします。



## 千葉支部 特別講演会のご案内

### 第56回定時報告会 特別講演会

平成22年11月28日(土) 14:15~15:45

京葉銀行文化プラザ

講師：能楽師 シテ方観世流 九世 橋岡久太郎 氏

テーマ：「ちばが世界に誇る伝統的文化の継承」

日本経営士会千葉支部は社会貢献活動を目的とした活動の一環として、平成23年度の総会(本年より「報告会」となります)の基調講演は、千葉県佐倉市在住の能楽師であります、シテ方観世流橋岡会第九世 橋岡久太郎氏に、「ちばが世界に誇る伝統的文化の継承」というテーマでご講演頂くことになりました。

日本の伝統的文化である「能」は650年もの間受け継がれ、今日世界に類のない日本文化の象徴となっております。橋岡九世は能の世界を継承され、3歳で能の初舞台を踏まれて以降、50余年の間、各地での講演などで「伝統的文化の継承」を強く主張されています。これは、中小企業における「事業継承の問題」に大いに繋がる場所があるように感じられます。

今回、副支部長の山田会員が千葉県商工労働部主催の観光リーダー養成講座でたまたま、橋岡氏の奥様と一緒だった繋がりから、ご講演をお願いしたところ快くお引き受け頂きました。

会員の皆様には、クライアントへの経営指導や地域への社会貢献活動への話題としてご活用頂けると幸いです。多くのご参加をお待ちしております。

千葉支部長 西村 豊

### 橋岡久太郎氏の主な活動実績

昭和33年、重要無形文化財総合指定保持者・八世橋岡久馬の長男として生まれる。3歳にて初舞台を踏む。

8歳にはヨーロッパ7か国にて「菊慈童」のシテ(主役)を演じて以来、10数か国30都市にて能公演を手掛け成功させる。

以後、「鷺」、「道成寺」をはじめ大曲、秘曲等数々の能を勤める。

演能と共に国内外の大学、文化団体等にて講師を勤め、平成7年春、九世 橋岡久太郎を襲名。

平成9年天皇訪伯記念公演参加に続き、翌10年春、外務省国際交流基金派遣公演の団長として ブラジル5都市にて能楽の普及に勤めた。

平成16年5月には大韓民国、淑明(SUNMYON)女子大学校よりの招聘により、ソウルにて能「高砂」を戦後65年振りに公演し、平成18年6月には、ウェリントン、オークランド、パーマストンノース3都市にて、ニュージーランド初の能公演を勤め大好評を博した。

能楽本来の伝統を守りつつ、新作能や、他ジャンルとの舞台活動にも積極的に参加し、小中高等学校等での能楽教室にも力を入れる。

平成21年~22年度「千葉県の教育を元気にする有識者会議」委員。

ホームページ URL <http://www.catv296.ne.jp/~hashioka/index.html>

# 会議・研究会開催報告

## ■ 月例研修会

### 12月度月例研修会

平成22年12月18日（土）15:00～17:00

船橋市中央公民館

テーマ：「研究会活動中間報告」

講師：コンサルティング研究会 若月英司 会員、 大久保 篤 会員

農業観光研究会 西村 豊 会員

参加者：若月英司、大久保 篤、林 堯夫、岩野邦久、西村 豊、鈴木伸一、山下恭司、上條靖芳、  
高野充昭、鈴木弘道、原 弘行、藤江隆平、山田 一

本年最後の月例研修会は、支部の研究会であるコンサルティング研究会と農業・観光研究会の活動報告の発表の場とした。両研究会とも今迄にない新しい試みが行われており、その発表となった。

#### 1. コンサルティング研究会

発表者：若月英司会員、大久保 篤会員

##### ① 活動状況

従来から地域中小企業の経営改善を目的とした研究を重ね、各商工会議所等との共催セミナーにより地域中小企業経営者等に提言してきた。今日の経済状況下において、「間違った業績改善策」が経営改善の妨げになっている例を見ることが多い。このようなことから、今年度の新しい試みとして“真の経営改善”の提案を経営者・管理者が分かり易いようにした“間違いを直せば業績は改善する”を小冊子として纏め、県内の関係先に配布した。

##### ② 小冊子「間違いを直せば業績は改善する」の要旨

- 「利益追求が会社に繁栄をもたらす」という間違い
- 「コストを削減すれば儲かる」という間違い
- 「まとめて処理すれば儲かる」という間違い
- 「原価割れの注文は受けない」という間違い
- 「すべての受注に即納すれば儲かる」という間違い

##### ③ 小冊子の主な配布先

行政：千葉県商工労働部、千葉県産業振興センター経営支援部及び同部船橋オフィス、  
市原市役所経済部

経済団体：千葉県経営者協会、千葉県商工会議所連合会、千葉商工会議所、松戸商工会議所、  
市川商工会議所、市原商工会議所、船橋商工会議所、佐倉商工会議所、船橋金属工業  
団地協同組合、千葉県中小企業団体中央会、千葉県商工会連合会

企業：(株)東邦化学研究所、(株)日商グラビア、古河電工エコテック(株)、(株)アキテック  
アヅマ(株)、電気化学工業(株)千葉工場、福井電化工業(株)、(株)萬国、高六商事、  
津田化学、山惣熔断(株)

小冊子の配布先からは、大変好評を得ており、研究会のメンバーは意を強くした。

## 2. 農業・観光研究会

発表者：西村 豊会員

### ① 2010 年度活動目標

- ―千葉県農林水産部担い手支援課事業への応札
- ―農商工連携支援コーディネーター養成講座の開催
- ―環境ビジネスへの取組
- ―千葉の魅力発信戦略策定（観光企画開発）

### ② 活動報告

- ―アグリトップランナー育成事業への応札

6月28日プレゼンテーション、結果は前回受注した「流通研究所」が落札、

- ―中小企業応援センターへのアクセス

6月14日千葉県産業振興センターとの情報交換会実施

- ―農商工連携支援コーディネーター養成講座の開催（3月20日―3月22日、10月11日）

結果、千葉支部修了者は11名であった。

- ―全国中小企業団体中央会による農商工連携等人材育成事業の公募

日本経営士会では全国4ブロック8会場で開催、千葉支部は柏市の「さわやか県民プラザ」で実施し、千葉支部会員が講師を務めた。研修申込者38名、修了者24名。最終日のロールプレイング/グループワークの結果は、特別講師として招いた白井梨業組合長秋本享志（ミチユキ）氏に提出済み。提案内容を理事会等で検討してもらうよう依頼中である。

- ―南房総地区に対する経営士としての地域貢献の模索

衆議院議員石田三示氏に面会の為、衆議院第一議員会館議員事務所を訪問。訪問者は鶴岡義明本部理事、鈴木伸一副支部長、山田 一 副支部長の3名であった。訪問目的は、石田議員を通して千葉県の農業と観光の面から地域貢献の活動を申し出し、案件があれば声を掛けて頂きたい旨お願いした。とっかかりとして、石田議員が関与している芸能人加藤登紀子氏の経営する鴨川自然王国の紹介を依頼した。

### ③ 来年度の取組課題

- ―農商工連携人材育成事業

今年度の経験を生かして、レベルアップしたセミナーの実施

- ―南房総地区の農業・観光を手段に夷隅、館山、南房総、鴨川を中心にグリーンツーリズム、ブルーツーリズム、メディカルツーリズムによる町おこしの企画。

石田三示衆議院議員、秘書池田 勝氏、加藤登紀子氏（鴨川自然王国）、いすみ鉄道 鳥塚 亮 社長、千葉県経営者協会会員企業等との連携

- ―環境ビジネスへの取組み



## 1 月度月例研修会

平成23年1月29日（土）15:00～18:00

船橋中央公民館

テーマ：「E社の新薬開発プロセスと組織マネジメント」

MPP リーダー：林 久雄 会員塚本裕宥 会員（茨城県会）

参加者：千葉道生、逆井甚一郎、西村 豊、鈴木伸一、中嶋清介、山田 一、中野周行、山下恭司

MPP ケースは大手製薬会社の筑波研究所での新薬（アルツハイマー病治療薬）開発の成功事例で、研究開発部門における経営組織のあり方を考えて見ようとするものです。

今回の MPP 開催公告を見た会員はケースの題名から 1) 何とかつかめらしいテーマなのだろう・・・、2) 自分が知らない何か新しいものがありそうだ・・・と大きく2派に分かれたのではないだろうか。

今回は10名の参加者を得て、2チーム編成での研究会を実施しました。

課題のケース説明文には普段使い慣れていない語彙が幾つかあり、チーム討議で参加者は内面的に幾らか混乱（格闘?）しながらも自分の意見を表現しなければならない場面もあったのではないのでしょうか。今まで自分の持つパラダイムの中で議論するのは気楽であるが、時にはその殻を破る次元に自分を置くことも必要だと考えます。

MPP には討議の中で相互啓発を促す機会が確かにあります。他のメンバーの発言の中に自分で考えもしなかった意見、ハッと気がつくこと・・・” 気づき” のある事が時々あります。この気づきを大切にメモし、後日、振り返る（省察）事により、あるいは自分のこれまでの思考の殻や枠を超え、新しい自分のパラダイムを構築する機会になるかも知れません。もしかして、自分が苦し紛れに表現した言葉・内容が他のメンバーに新しいアイデア、考えを発露させる機会になっている可能性もあります。

今回参加されたメンバーの報告書にも「さまざまな角度から見た真新しく新鮮な考え方を実感出来た」との複数人からのコメントがありました。

又、最先端の研究開発組織の事例ではあるが、組織マネジメントは一般業種・業界に共通しており、実感される事が多い。との感想も寄せられています。

ケース研究の具体的考察で新薬開発の成功要因としては報告書に挙げられた幾つかを列記すると次の様なものがあります。

- 1) Top(研究所の所長)は研究所内外に信望が厚く、的確な組織運営上の采配を振っているようだ。
- 2) 最適な組織構成：治療対象別6つの研究室、各研究室に開発合成チーム、評価（薬効）チーム等役割分担が明確であり良好な競争原理が作用しているのではないか。
- 3) 組織の長は Top の方針を正しく解釈し、具体化しているものと思う。
- 4) 組織の長は仕事への情熱があり、人を見る目があり、部下を育てる意識を持っているものと思う。
- 5) 研究組織は新人を含め全体の成員が自由闊達に研究活動が出来るようになっている。
- 6) ジェネレーションギャップへの配慮がなされ、新人の自由裁量で研究がなされている。
- 7) 人間関係が良好で、個々人が認められている事が個々人をモチベートし、活動をアクティブにしているものとする。

8) ”偶然に” 新人が新薬の開発に成功したとはあるが、上記の環境と共に幾多の研究の積み重ねの歴史があつてのものと思われる。

高齢者の痴呆症の問題は我々にとって身近な問題ですが、これを防ぐには厨房に立って料理をすることが最良の対策であるとの紹介がありました。

尚、当日は、「・痴呆をきたす病気、・脳血管性痴呆いわゆる呆け、・アルツハイマー病について」の切り抜き記事を、何かのきっかけにでもなればと配布しました。

千葉支部 MPP 担当 中嶋 記

## 2月度月例研修会

平成22年2月26日(土) 15:00~17:00

船橋中央公民館

テーマ:「環境問題の原点と中小企業における環境対策」

講師:林 久雄 会員(経営士会環境分野ビジネスエコリーダー)

参加者:鶴岡義明、千葉道生、島川憲夫(神奈川県会)、新見健司、小塚彦明、鈴木伸一、高野充昭  
山下恭司、林 堯夫、西村 豊、上條靖芳、大塚亜喜雄、中野周行、山田 一

1年前に林 会員による環境問題の講演をして頂き、今回2度目の話を伺う。来年度(4月以降)の事業計画として、新たにエコ研究会(仮称)を立ち上げることになり、研究会発足に当たって会員の環境に対する認識を新たにしてもらうこととなった。講演の内容は、以下の通り。

### 1. 環境対しての概要

今、世界で何が起きているのか。温暖化による環境変化が我々の生活にも大きく影響してきている。例として、写真で見る世界各地での砂漠化現象、南極の氷河の溶解、海面(水面)の上昇、凶暴化する気候—ハリケーン「カトリーナ」等々。これらの現象は日常生活、企業活動に影響を及ぼす要因にもなりつつある。

### 2. 環境問題

地球的な要因から捉えると9大地球環境問題、典型7公害、又、我が国固有の四大公害病を挙げる事が出来る。特徴としては、地球規模環境問題では、加害者・被害者が不明、法規制に限界があるという点である。典型7公害、四大公害病の特徴としては、局地的、加害者・被害者が明確、法規制が有効といった点が挙げられる。

### 3. 経営士として環境問題に取り組む EMS の方向性

ISO14001 が環境マネジメントシステムとして、指導的立場にあった。近年、これ以外にいくつかの環境マネジメントシステムが発表されるようになった。認証取得料も ISO14001 よりも安価であり、中小企業にとって取組み易いものとなっている。簡易型システムとしては、次のようなものが代表的である。

①KES(京のアジェンダ21フォーラム)公表の方法:環境宣言、認証取得料9万円又は27万円

②エコステージ(エコステージ協会)公表の方法:環境方針、認証取得料20~60万円

③エコアクション2.1(地球環境戦略機関—環境省)公表方法:環境活動レポート、認証取得料15~40万円

今後、企業に対して環境問題の法的規制が強化され履行義務が増えてくる状況にある。この取組に対し、政府からの補助金・助成金等がつく制度もあり、経営士として得意先企業への支援活動も増えてこよう。

#### 4. 研究会発足

4月以降、千葉支部として3つ目の研究会（エコ研究会：仮称）を発足させる。今後、環境問題を切り口として県内の活動に当たり、会員は東京商工会議所主催のエコ検定に合格し、専門知識の習得をして欲しい。まずは、専門知識を身に付けた上で、活動を展開していく予定である。



### 3月度月例研修会

3月度の月例研修として企画しておりました、「大田市場見学」ですが、この度の震災による、計画停電、それともなう交通機関の乱れなど、予想しえない事態となっておりますため、残念ながら中止とさせていただきます。次年度で開催できるよう調整を行っております。何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

会場などの急な変更は支部ホームページ、会員連絡用ブログにてお知らせしています。各研修会に出席する際は、ホームページをご確認の上ご来場ください。

千葉支部ホームページ <http://www.keieishi-chiba.org/>

会員連絡用ブログ <http://keieishi-chiba-info.sblo.jp/>

## ■ 幹事会

### 第10回 幹事会

平成22年12月18日(土) 13:00~15:00

場 所 船橋中央公民館

参加者 西村 豊、鈴木伸一、山田 一、上條靖芳、岩野邦久、藤江隆平、若月英司、山下恭司

1. 本年の事業整理と年度末までの予定について
2. 来年度の計画について

### 第11回 幹事会

平成23年1月29日(土) 13:00~15:00

場 所 船橋中央公民館

参加者 西村 豊、鈴木伸一、山田 一、大塚亜喜雄、中嶋清介、榎田國男、林 久雄、千葉道生、山下恭司、  
鶴岡義明、若月英司、藤江隆平

1. 決算準備、来年度の事業計画について
2. 新会計システムの導入について
3. 日本ガス機器検査協会契約の会員向け告知の方法について

### 第12回 幹事会

平成23年2月26日(土) 13:00~15:00

場 所 船橋中央公民館

参加者 西村 豊、鈴木伸一、山田 一、大塚亜喜雄、小塚彦明、林 久雄、中嶋清介、千葉道生、上條靖芳、  
山下恭司、鶴岡義明、藤江隆平

1. 本年度の報告案（総務、会計）について
2. 来年度の事業計画について
3. エコ研究会（仮称）の推進体制について
4. パソナとの提携方法の変更案について

### 第2回 常任幹事会

平成23年3月19日(土) 13:00~16:30

場 所 船橋勤労会館喫茶室

参加者 西村 豊、鈴木伸一、山田 一

1. 平成23年度の事業計画・予算について



## ■コンサルティング研究会

### 第11回（12月）

平成22年12月12日（日）15:30～18:00

場 所 千葉市生涯学習センター小会議室

参加者：河井成夫、大久保 篤、林 堯夫、岩野邦久、若月英司

1. 小冊子「社長啓発プロジェクト“間違いを直せば業績は改善する”」配布状況報告
2. 今後の進め方について
3. 千葉支部月例研修会での当研究会活動報告について

### 第12回（1月）

平成23年1月8日（日）15:30～18:00

場 所 千葉市生涯学習センター小会議室

参加者：岩野邦久、林 堯夫、河井成夫、大久保 篤、若月英司

1. 小冊子「社長啓発プロジェクト“間違いを直せば業績は改善する”」配布先状況報告
2. 平成23年度の計画について

### 第13回（2月）

平成23年2月20日（日）15:30～18:00

場 所 千葉市生涯学習センター小会議室

参加者：大久保 篤、林 堯夫、岩野邦久、若月英司

1. 小冊子「社長啓発プロジェクト“間違いを直せば業績は改善する”」配布先状況報告
2. 小冊子「社長啓発プロジェクト“間違いを直せば業績は改善する”」配布先のフォロー
3. 平成23年度の計画について

### 第14回（3月）

平成23年3月20日（日）15:30～18:00

場 所 千葉市生涯学習センター研修室

参加者：大久保 篤、林 堯夫、岩野邦久、若月英司

1. 小冊子「社長啓発プロジェクト“間違いを直せば業績は改善する”」  
東京商工会議所23区支部中小企業経営支援担当あて送付準備
2. 平成22年度研究会活動収支実績及び平成23年度研究会活動予算とりまとめ

## ■農業・観光研究会

### 第9回（2月）

平成23年2月21日（月）14:00～17:00

場 所 秋葉学園千葉情報経理専門学校

参加者：八代 譲、山田 一、山下恭司、鶴岡義明、西村 豊

1. グリーンツーリズム
2. 江戸崎「商業集積の総括的機能再構築策定、活性化計画実施に向けて」
3. 八代氏の提案検討

## (財) 日本ガス機器検査協会業務委託契約のご案内

千葉支部の業務開拓の取り組みの一環として、このたび、(社)日本経営士会千葉支部は(財)日本ガス機器検査協会と業務委託契約を結びました。

契約内容は(財)日本ガス機器検査協会が業としている下記内容の認証取得を希望されているお客さまを紹介し、同社が営業活動を行った結果、契約が成立した場合に契約金額の5%を(社)日本経営士会千葉支部に支払われるものです。

千葉支部では(財)日本ガス機器検査協会より振り込まれた金額の10%差引き、ご紹介を頂きました皆様に紹介手数料としてお支払いさせていただきます。皆様のお取引先が認証取得を希望されるようでしたならば、是非ともご紹介ください。

紹介される場合は、顧客紹介申込書を支部ホームページからダウンロードし必要事項を記載の上、下記宛にご連絡ください。尚、(財)日本ガス機器検査協会に照会後のフォロー、結果等に関しましては必ず皆様にご報告いたします。

尚、認証取得のためのコンサルティングに関しましては別途契約となります。

### 注1 (財)日本ガス機器検査協会への紹介内容

QMS(ISO9001), EMS(ISO14001), OHSAS(OHSAS18001), FSMS(ISO22000)  
の新規取得または他認証機関から移転に関する顧客の紹介

### 注2 紹介の連絡先

(社)日本経営士会千葉支部

副支部長 山田 一

E-mail : enshin@js4.so-net.ne.jp

詳細はホームページの会員情報にも掲載いたします。こちらをご覧ください。

## 新規事業のご案内と会員情報記入のお願い

千葉支部長 西村 豊

千葉支部の業務開拓の取り組みの一環として、従来ありました（株）パソナドゥタンク社と支部会員各位とのレップ登録制度の件につきまして、鈴木 REP 事業部長はじめ3名の方と、千葉支部長、副支部長の3名で話し合いを持ちました。

従来のレップ登録制度では、顧客紹介を主としていたため、残念ながら成功しているとは言いがたいものでした。また、本来、経営士のコンサルティングや研修などの業務がなく、支部会員のニーズとは、あまりマッチしているものではありませんでした。

それらの問題を解消することを目的として、支部会員の仕事を得るために、支部活動の一環として、会員の仕事を得るために、積極的にセールスをすることを相談させていただきました。その結果として、パソナドゥタンク社側では、コンサルティングや研修等の業務はあるが、千葉支部会員のスキルが不明のため、他支部や個人的に紹介を受けたコンサルタントに仕事が流れているという問題点が発覚いたしました。

千葉支部としては、支部会員に業務紹介を依頼してもらうためにも、千葉支部会員のセールスポイント、スキルをまとめて、支部を窓口として積極的にパソナドゥタンク社にセールスを行おうと思っております、趣旨に賛同いただける方は、支部報に添付されている顧客紹介申込書に必要事項を記入の上、鈴木会員宛（FAX：04-7133-1303）にお送りいただくか、支部ホームページの会員ページから用紙をダウンロードし shin\_suzuki@nifty.com 宛にメールに添付してお送りいただくようよろしくお願いいたします。

千葉支部では、これからも積極的な営業活動を行い、支部会員の皆様に喜んでいただけるような活動を目指してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## ■ 研修会の予定

### 4月 月例研修会開催のおしらせ

開催日 平成23年4月30日(土) 場 所 船橋市中央公民館  
講 師 (有)つくばネットプラン 八代 讓 氏 時 間：15:00～18:00  
テーマ 「経営士から見た地域活性化活動」

平成23年度第1回目の月例研修会のご案内です。

今回は、元、茨城県会会員の八代 讓氏による「経営士から見た地域活性化活動」と題して、私たち千葉支部会員として千葉県を軸足に何が出来るかをお話し頂きます。八代氏が地元茨城県内で活動してきた内容の紹介を通して、千葉県に置き換えて考えてみましょう。具体的な例として、農業・観光研究会活動の一環として昨年公開講演会で話を頂いた鳥塚社長が経営再建に頑張られているいすみ鉄道を軸としたグリーンツーリズムの検討が挙げられます。

地域に根差した活動を考えて行く上でも、多くの会員の方たちが参加されることを期待致します。

### 6月 月例研修会開催のおしらせ

開催日 平成23年6月25日(土) 場 所 船橋市中央公民館  
講 師 山下恭司 会員 時 間：15:00～18:00  
テーマ 「財務会計セミナー」

詳細が決まり次第、メール、ホームページ等のご案内いたします。

メールアドレスを変更した際は、広報担当 鈴木 (shin\_suzuki@nifty.com) まで、新しいメールアドレスをお知らせください。メール未着の場合は、封書による再送ができない場合がございます。その際は支部報を支部ホームページに掲載しておりますので、ダウンロードをお願いします。

記事ご協力をお願い

記事、投稿をお待ちしております。ご協力お願いいただける方は広報担当 鈴木までお送りください。

TEL：090-5446-2808 FAX：04-7133-1303  
MAIL：shin\_suzuki@nifty.com